

研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-161	A-133	15-059 滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門
題名 (原題/訳)		
Analyzing the effects of alcohol on adolescent trauma using the National Trauma Data Bank. 国民外傷データベースを用いた青少年の外傷に対する飲酒の影響の分析		
執筆者		
Aziz H, Siordia JA, Rhee P, Pandit V, O'Keeffe T, Kulvatunyou N, Joseph B.		
掲載誌		
J Trauma Acute Care Surg. 2015 Sep;79(3):463-7. doi: 10.1097/TA.0000000000000777.		
キーワード		PMID
青少年、外傷、合併症		26307881
要 旨		
目的： 青少年においてアルコール濫用は予防できる外傷の重要な原因である。本報告では青少年の外傷への飲酒の影響を評価する。		
方法： 米国の国民外傷データベースの後ろ向き解析を実施した。2群間の合併症と死亡率の違いをアウトカムとした。		
結果： 31,923件の青少年外傷事例のうち、21%が飲酒と関連していた。プロペンシティブ・マッチド分析において飲酒との関連が見られた疾患は、呼吸窮迫症候群（10%対6%, P=0.001）、肺炎（31%対24%, P=0.01）、血栓塞栓合併症（30%対20%, P=0.001）などであった。飲酒は青少年の外傷患者の死亡率も高くした（15%対9%, P=0.04）。		
結論： 飲酒は青少年に悪影響を与える。本検討は青少年外傷患者における飲酒の影響を明らかにした。		